

演劇会

01 演劇会とは？

女子高三大行事の一つで、6月に行われます。

演目決めから、脚本やキャスト、音響などの舞台効果まで、**全て生徒のみ**で作ります！運営も実行委員の生徒が主となります。本番は体育館の舞台で行われ、いつもの体育館が衣装や照明で華やかになります(笑) 生徒一人一人があらゆる面で**才能を発揮**できる行事です！



◀女子高生が描いたパンフレットの表紙です。

02 女子高生目線の演劇会



◀ベニヤや衣装、小道具で華やかに！

進級・入学してから、いちばん最初に行われる三大行事なので、ここでクラスの団結力が問われる...

というよりも寧ろ、ここからクラスとしての一体感が生まれてくると言っても過言ではありません！キャストの台詞はクラス内でプチ流行語となったり、普段着ることのない衣装で**非日常感**を味わえたり、小道具や背景のベニヤの**クオリティの高さ**には毎年驚かされたり...。幕が開き、目に飛び込んでくる陰影や遠近感が活用されており背景には、毎回どよめきが起こります(笑)

03 演劇会実行委員会より

演劇会は、友人、そして時に自分自身の、**普段とは異なる一面**や**新たな才能**を知ることのできる行事です。

その「**発見**」のお手伝いをするのが、私たち

実行委員会です。生徒が運営するからこそ見えてくる視点を最大限に活用し、演劇会をみなさんのかけがえのない思い出にできることを目標に運営してまいります。限りない努力や奮励の果てに待つのは、涙か。感動か。それを決めるのは他でもないみなさん自身です！

▶実行委員会本部の様子。赤いベストが実行委員の目印です。



04

今年の劇紹介

今年の演劇会では、計16クラスによる
多種多様な劇が上演されました!その中から
3クラスの方にインタビューをしました!

オズの魔法使い

1年F組の演目は、「オズの魔法使い」でした。テンポの良いシナリオだけでなく、西の魔女との戦いのシーンや細部までこだわられた小道具にも注目の作品でした!



▲舞台だけでなく幕前や花道をどのように使うかもカギとなってきます。

くるみ割り人形

2年B組はくるみ割り人形を発表しました。キャストや小道具から照明までクラス一丸となって作り上げました。劇中に使われるくるみ割り人形は、首が取れてとてもリアルです!見た人は全員劇に引き込まれるはず!

▼「小さい」からといって小道具の力を侮るなかれ!舞台を引き立たせる大切な要素です。



ラ・ラ・ランド

3年B組は、映画「ラ・ラ・ランド」を舞台化しました。暗闇にも映えるベニヤ、原作を忠実に再現した衣装や小道具、脚本を引き立てるダンサーや舞台効果など、全てのセクションが合わさり、B組にしか作れない最高の恋愛物語が完成しました。



▲観客を劇の世界へ一気に引き込む美しいベニヤ。その裏には女子高生たちの並々ならぬ努力が…。

05

2022年度の演劇会

今年度の演劇会は、コロナによる規制が緩和されたため、保護者も

体育館で観劇することができるようになりました。その一方で、演技中は**マスクの着用**や**キャストの距離**などに制約がありました。そんな中でも、実際に観劇してくださった方や、カメラを通して教室で観劇している女子高生にも聞き取れるような声で演技ができるように練習したり、キャストの動きを変更したり、状況下に合わせ、その中で最高の劇ができるように**試行錯誤**しました。例年と違う体制の中で、どのように皆さんに**楽しさ**や**感動**を届けるか。今の境遇をネガティブに捉えず、寧ろそれを「**利用しよう**」という女子高生の力が発揮された演劇会でした!